

原 始 ・ 古 代 編

年 号	出 来 事
<p>縄文時代早期 (約 9500 年前)</p>	<p>「夏島貝塚」 夏島町2丁目に所在。貝塚は標高46[㍓]西側頂上付近と島の中央部に存在する。貝塚の堆積層は関東ローム層を基盤に褐色土層・第1貝層・第1混土貝層・第2貝層・第2混土貝層・第3貝層・腐植土層となる。出土した遺物のうち土器は縄文時代早期の夏島式土器を中心として、井草・大丸・田戸下層・田戸上層・子母口・野島・鶴ヶ島台・茅山下層・入海・関山式の縄文時代早期から前期までのものが出土している。石器は礫器が主体を占め、特に夏島式に伴うものが多い。これに対し縄文時代早期後半の土器には石鏃が多く伴うなど時期による変化が見られる。骨角牙器や貝製品は第1貝層を中心に多く出土している。なかでも夏島式土器に伴うイノシシ牙製の釣針やその組合わせ式釣針の柄と思われる有孔槌形骨器は日本列島における釣漁の出現を考える上で貴重な資料である。</p> <p>自然遺物では第1貝層が種類・量とも最も多く、貝類マガキ・ハイガイ・ハマグリ他、哺乳類ではイノシシ・ニホンジカ他、魚類ではボラ・クロダイ・スズキ他、鳥類ではキジ・ヨシガモ他などが出土している。その年代は当時開発されて間もない放射性炭素での年代測定が夏島式土器に伴う貝と木炭で試みられ、カキの貝殻は9450±400年以前、木炭は9240±500年以前という結果が得られた。</p> <p>夏島は再度調査が行われ、島中央部から縄文時代早期後葉の鶴ヶ島台式土器を伴うマガキを主とする貝層の存在が確認された他、島の東部から早期中葉の田戸下層式の堅穴住居跡が検出されている。夏島貝塚は国内最古級の貴重な貝塚である。(国指定史跡)</p> <p>「良心寺裏遺跡」 良心寺裏の追浜南町から湘南鷹取1丁目にかけて所在する。丘陵上の緩斜面に立地し、縄文時代早期の条痕文土器が採取されている。</p>
<p>縄文時代中期 (約 4500 年前)</p>	<p>「正光寺裏遺跡」 追浜町3丁目に所在する。正光寺墓地に隣接する標高30[㍓]の丘陵斜面に立地し、縄文時代中期(加曾利式)の土器片が出土する。</p> <p>「正禅寺裏山遺跡」 浦郷町4丁目に所在する。正禅寺裏の丘陵上に立地し、縄文時代中期の土器片および石鏃が採取されている。現状は畑地である。</p>

年 号	出 来 事
	<p>「榎戸貝塚」 浦郷町2丁目、能永寺境内に所在する。土器片等が出土し、縄文時代中期の勝坂式土器から加曾利E式土器が検出されている。</p>
<p>縄文時代後期 (約 4000 年前)</p>	<p>「榎戸貝塚」 能永寺境内に所在。貝層は幅1㍍、長さ6㍍ほどにわたって露出、厚さは約1㍍で、貝層の下には1.35㍍の混貝土層があった。また、貝殻、獣魚骨などの自然遺物と土器、石器、骨角器などが出土している。出土土器は縄文時代後期の堀之内式から加曾利B式、稱名寺式土器にあたる。自然遺物は二枚貝が19種、巻貝22種、獣魚骨は哺乳類7種、魚類6種以上、鳥類2種以上が挙げられる。出土の骨角製漁労具から内湾、外洋ともに漁労が盛んであった様子が窺える。</p> <p>「向坂遺跡」 鷹取1丁目に所在する。丘陵斜面上に立地し、縄文時代と古代の遺物が採取されている。大半が湘南病院敷地内で、ほぼ消滅する。</p>
<p>弥生時代後期 (2世紀～3世紀)</p>	<p>「八王子神社裏遺跡」 浦郷町1丁目に所在する。標高20㍍程の北に張り出す丘陵上に立地し、弥生時代後期の遺物が採取されている。現在は畑地である。</p> <p>「鉾切遺跡」 浦郷町4丁目から夏島町にかけての砂丘一帯に広がる海浜の遺跡。弥生時代後期から古墳時代にかけての遺跡で、焚火跡、手握ね土器、滑石製模造品類など祭祀的色彩が濃い様相を見せている。なお、当遺跡は重層的で古墳時代後期から平安時代(後出)の遺構を包含する。</p> <p>「天神遺跡」 追浜本町1丁目に所在した。夏島湾内に面し、横浜市境の北岸低地に立地する。弥生時代後期から古墳時代初頭にかけての遺跡。現在、詳細は不明である。</p>
<p>古墳時代早期 (3世紀後半)</p>	<p>「天神遺跡」 前出の遺跡に包含される。市境をなす天神山先端部に営まれた遺跡で、古式土師器の出土が知られる。弥生時代末期から古墳時代早期頃(4世紀)の遺跡である。</p> <p>「東鉾切遺跡」 浦郷町4丁目～5丁目に所在する。谷中の低砂地に立地する古墳時代から平安時代の遺物散布地・貝塚。正禅寺山門脇に古墳時代前期の貝塚があり、土師器やカキ・アサリ・カガミカイなどが採取されている。また、岡村製作所の工場敷地部分から造成工事中に和泉期の壺型土器とともに、滑石製勾玉・有孔円盤・劔形模造品・白玉などが出土している。</p>

年 号	出 来 事
	<p>「日向遺跡」 浦郷町1丁目に所在する。深浦湾から南入する小入江の沿辺の沖積地に立地する。地表下3m前後に遺物包含層が検出され、古墳時代前期とみられる尖底で外面にタタキ目を施した土師器など土器類、骨角製品、動物骨が良好な状態で遺存していた。</p>
<p>古墳時代後期～ 終末期 (6世紀～7世紀)</p>	<p>「西鉾切遺跡」 浦郷町4丁目に所在した。丘陵中段平坦地に立地する古墳時代の遺物散布地。日産自動車の社宅造成工事中に古墳時代の土師器甕（三浦型甕）などが出土している。現在は社宅地で、造成工事でほぼ消滅した。</p> <p>「鉾切遺跡」 夏島町～浦郷町4丁目に所在する。古墳時代後期の祭祀遺構が良好な形で検出された遺跡である。砂丘上に破碎泥岩で大小の区画が設けられ、内区には牛骨埋納壙、イルカ推骨の埋置、土器の一括出土といった特異な状況が遺されている。出土した土師器は「鬼高式土器」の範疇に含まれるもので、6世紀前葉から7世紀初頭にかけてのものという。</p> <p>「天神横穴墓群」 追浜本町1丁目に所在した。天神山麓下に立地したが、埋立掘削により未調査のまま消滅しており、詳細は不明。直刀片・骨製鏃・朱玉・土師器・須恵器などの出土遺物が伝えられており、7世紀の築造と考えられる。</p> <p>「鉾切横穴墓群」 浦郷町5丁目に所在した。東鉾切集落の裏山に存在した「範頼ヤグラ」と伝承する横穴群で、28穴が確認されていた。戦時中に破壊されたが、それでも戦後まで7穴が残存していた。のち岡村製作所の工場建設のさい取崩されて消滅した。調査記録はなく、詳細は不明である。</p> <p>「榎戸横穴墓群」 浦郷町2丁目に所在する。別名「田川公園内横穴墓群」。 深浦湾西岸、丘陵先端付近に南面する崖地に5穴が確認されている。</p>

年 号	出 来 事
<p>平安時代 (9世紀～12世紀)</p>	<p>「鉦切遺跡」 夏島町～浦郷町4丁目に所在する。この期の遺構・遺物は汀線に近い地点を中心に検出されている。ここでは海拔0～1m前後の波蝕台岩盤と磯浜が検出され、この直上に古墳時代後期の遺物を包含することから、これ以降降陸化が次第に進み、平安期には生活域として活用されたことが想定されるという。焼土遺構からは三浦型甕が多量に出土している。遺物は土師器、須恵器が主体で、灰釉陶器や在地産のロクロ土師器も含まれる。</p> <p>「日向遺跡」 浦郷町1丁目に所在する。古墳時代遺物とともに平安時代の甕も多量に出土し、「三浦型甕」と称される三浦半島の海辺部遺跡に共通の様相が認められる。また、かわらけ、伊勢型鍋など中世遺物も出土しているが、未報告のため詳細は不明という。</p>